



平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ボルテージ

コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 晃洋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 佐藤 裕樹

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	2,293	3.4	△112	—	△112	—	△97	—
25年6月期第1四半期	2,218	—	△107	—	△107	—	△77	—

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 △98百万円 (—%) 25年6月期第1四半期 △81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	△19.39	—
25年6月期第1四半期	△15.50	—

(注) 平成25年6月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	4,269	—	3,132	—	73.4	—
25年6月期	4,322	—	3,327	—	77.0	—

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 3,132百万円 25年6月期 3,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年6月期の配当予想は未定としております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	△2.7	△50	—	△50	—	△100	—	△19.75
通期	9,500	4.5	300	1.6	300	△12.7	80	△43.2	15.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1. 上記の1株当たり当期純利益は、本四半期決算短信の発表日現在における発行済株式総数(5,063,858株)を基に算出しております。

2. 平成26年6月期の個別業績予想につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	5,034,858 株	25年6月期	5,034,258 株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	228 株	25年6月期	228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	5,034,630 株	25年6月期1Q	4,974,819 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現する中で、企業収益は大企業を中心に改善しており、これにより、家計所得や投資の増加傾向が続き、個人消費は持ち直してきました。

モバイルビジネスを取り巻く環境として、スマートフォン契約比率^(注1)は、平成25年9月末の42.2%から、平成26年3月末には46.6%、平成27年3月末には53.6%に増加し過半数に達すると予測されています^(注2)。

このような環境の下、当社グループは、「恋愛と戦いのドラマ」をひたむきに追究しつづけると共に、当期は、以下を中期目標の達成戦略として事業拡大に努めています。

1. OS系ファースト
2. 男女向け及び海外市場向けの拡張
3. 12ヶ月回収テレビCM

売上は、国内市場において、パーソナルアプリは、OS系PF^(注3)向けが増加しましたが、キャリア公式PF^(注4)向けがPF環境の急変を受け想定通り大きく減少したため、前年同期比で減少しました。一方、ソーシャルアプリは、既存タイトル及び新規タイトルの一部が好調で、前年同期比で大幅に増加しました。また、海外市場において、本社発タイトルは順調に増加し、米国子会社発タイトルは売上規模が小さい状況でありました。全体としては、前年同期比で増加するとともに、期初計画比でも増加しました。

費用は、増員による人件費の増加、オフィス増床による賃料の増加、ソーシャルアプリ売上・OS系PF向け売上の増加による販売手数料の増加等がありました。広告宣伝費については、テレビCM出稿を実施しましたが、全体としては、効率的に使用し、前年同期比で減少しました。

利益は、計画通りの赤字であり、前年同期比では費用増加により赤字額は若干増加しましたが、期初計画比では売上増加により赤字額は大幅に減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高2,293,901千円（前年同期比3.4%増）、営業損失112,235千円（前年同期は営業損失107,114千円）、経常損失112,255千円（前年同期は経常損失107,168千円）、四半期純損失97,598千円（前年同期は四半期純損失77,101千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の主な取り組みは、以下の通りであります。

(パーソナルアプリ)

新規タイトル「上司と秘密の2LDK」は、好調に立ち上がり、大幅に計画を上回りました。男女向けコンテンツは、既存タイトルのKPI分析を行い、下期投入予定の新編の企画を進めてきました。

海外市場向けは、「My Forged Wedding^(注5)」「10 Days with My Devil^(注6)」「Kiss of Revenge^(注7)」が好調に推移しました。

集客は、平成25年7月・8月・9月に、テレビCMを出稿し、概ね計画通りの効果が得られました。

(ソーシャルアプリ)

新規タイトル「王子様のプロポーズⅡ」は、好調に立ち上がり、大幅に計画を上回りました。既存タイトル「王子様のプロポーズ」「誓いのキスは突然に」も好調に推移しました。

集客は、OS系PF向けのモバイル広告出稿等を行い、概ね計画通りの効果が得られました。

(海外子会社)

新規タイトルの投入はなく、既存タイトルについて、購買メカニズムに基づいたKPI測定とPDCA運用の強化を図り、概ね計画通りに推移しました。

(注) 1. スマートフォン契約比率：スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた端末総契約数に占めるスマートフォンの割合
2. 出所：株式会社MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測（2013年10月）」平成25年10月9日発表
3. OS系PF：App Store、Google Play等のアプリマーケット
4. キャリア公式PF：NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルが運営するサイト
5. 邦題：「My Forged Wedding」 6. 邦題：「10 Days with My Devil」 7. 邦題：「復讐のキスをあなたに」

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、4,269,411千円（前連結会計年度末比52,868千円減）となりました。

流動資産は、3,488,418千円（前連結会計年度末比85,097千円減）となりました。その主な要因は、現金及び預金が78,019千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、780,993千円（前連結会計年度末比32,228千円増）となりました。その主な要因は、無形固定資産が37,326千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、1,136,476千円（前連結会計年度末比141,547千円増）となりました。

流動負債は、1,135,964千円（前連結会計年度末比141,844千円増）となりました。その主な要因は、賞与引当金が80,687千円増加、買掛金が33,779千円増加、未払金が18,696千円増加、未払費用が14,087千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、512千円（前連結会計年度末比297千円減）となりました。その要因は、長期未払費用が297千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、3,132,935千円（前連結会計年度末比194,415千円減）となりました。その主な要因は、利益剰余金が193,245千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の連結業績予想については、第2四半期以降も、中期目標の達成戦略「OS系ファースト」「男女向け及び海外市場向けの拡張」「12ヶ月回収テレビCM」を推進していくことにより、順調に推移するものと見込まれます。

具体的には、以下の取り組みを行います。

1. OS系ファースト

(パーソナルアプリ) シリーズ導客の強化

(ソーシャルアプリ) ネイティブアプリの投入

2. 男女向け及び海外市場向けの拡張

①男女向け マネタイズ仕様の最適化

②海外市場向け

(パーソナルアプリ) USオリジナル化の推進

(ソーシャルアプリ) 大型北米仕様タイトルの検討

3. 12ヶ月回収テレビCM

第3四半期に大規模テレビCM出稿

以上を踏まえ、通期の連結業績予想は、平成25年8月13日付の「平成25年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した内容から変更なく、売上高9,500百万円（前連結会計年度比4.5%増）、営業利益300百万円（同1.6%増）、経常利益300百万円（同12.7%減）、当期純利益80百万円（同43.2%減）を見込んでおります。

また、平成26年6月期の個別業績予想についても、上記と同様に変更なく、以下の通り、見込んでおります。

平成26年6月期の個別業績予想（平成25年7月1日～平成26年6月30日）

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期 (累計)	4,500	△2.8	130	△4.9	130	△10.7	80	△9.6	15.80
通期	9,400	3.3	580	13.5	580	3.8	360	1.1	71.09

(注)上記の1株当たり当期純利益は、本四半期決算短信の発表日現在における発行済株式総数(5,063,858株)を基に算出しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,783,950	1,705,930
売掛金	1,715,903	1,667,386
前払費用	67,688	65,075
繰延税金資産	16,405	56,322
その他	1,186	1,919
貸倒引当金	△11,618	△8,217
流動資産合計	3,573,516	3,488,418
固定資産		
有形固定資産	224,223	220,321
無形固定資産	248,010	285,336
投資その他の資産	276,531	275,335
固定資産合計	748,764	780,993
資産合計	4,322,280	4,269,411
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,157	123,937
未払金	7,242	25,939
未払費用	797,995	812,083
未払法人税等	33,963	28,918
賞与引当金	—	80,687
その他	64,760	64,398
流動負債合計	994,120	1,135,964
固定負債		
長期未払費用	809	512
固定負債合計	809	512
負債合計	994,929	1,136,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,762	887,862
資本剰余金	853,362	853,462
利益剰余金	1,566,550	1,373,305
自己株式	△196	△196
株主資本合計	3,307,479	3,114,434
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,872	18,501
その他の包括利益累計額合計	19,872	18,501
純資産合計	3,327,351	3,132,935
負債純資産合計	4,322,280	4,269,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	2,218,393	2,293,901
売上原価	569,578	819,521
売上総利益	1,648,815	1,474,380
販売費及び一般管理費	1,755,929	1,586,615
営業損失(△)	△107,114	△112,235
営業外収益		
受取利息	260	226
雑収入	120	334
営業外収益合計	380	561
営業外費用		
為替差損	435	581
営業外費用合計	435	581
経常損失(△)	△107,168	△112,255
特別損失		
固定資産除却損	514	4
特別損失合計	514	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,683	△112,259
法人税、住民税及び事業税	972	25,793
法人税等調整額	△31,554	△40,454
法人税等合計	△30,582	△14,660
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△77,101	△97,598
四半期純損失(△)	△77,101	△97,598

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△77,101	△97,598
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,911	△1,370
その他の包括利益合計	△3,911	△1,370
四半期包括利益	△81,013	△98,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,013	△98,969

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。